

# 環境 **大橋川改修** モニタリング協議会



大橋川改修では、大橋川に生息する生きものについて、モニタリングによって確認しながら事業を進めていくことにしています。

「環境モニタリング協議会」は、水域の環境に関する各分野の学識経験者と沿川行政関係者から、意見や助言を頂くための会議です。

環境保全措置を行う、貴重な生きもの



ヒトハリザトウムシ オオクグ



# 松江市 **景観** 審議会

大橋川沿川の「堤防」や「河岸」の景観形成について、松江市景観審議会で意見や助言を頂きます。



イメージベース:天神川水門 現況:下流部の南岸から朝酌矢田を望む 現況:くびき大橋より中流部北岸を望む

# 工事 **安全** **大橋川改修** 対策調整会議



大橋川を航行する船は、シジミ漁に向かう漁船、穴道湖を遊覧する白鳥号、高校生や大学生等のボート、不定期に航行することがある矢田遊覧船などがあります。

これらの船と工事船が安全に航行できるよう、関係者で工事安全対策調整会議を開催し、情報の共有や連絡体制について話し合い、工事を進めていきます。



# 大橋川コミュニティセンター

[休館日] 土日祝祭日・年末年始 [開館時間] 9:30~16:00 [駐車場] なし  
〒690-0887 松江市殿町383番地  
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623  
E-mail : info@comisen.jp  
ホームページ:http://www.comisen.jp/



\*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。

# 大橋川改修 追子地区の堤防工事を始めます。

2011.08  
Vol.33

刊行/大橋川コミュニティセンター



大橋川コミュニティセンター  
夏休み企画展  
開催中



古地図

大橋川に棲む昆虫

# 大橋川通信

大橋川改修情報紙

昨年、国土交通省が治水、利水、環境の観点から取り組むことをまとめた「斐伊川水系河川整備計画」では、今後約20年間の整備手順を示しています。(下図参照)

この中で、平成18年7月の豪雨で浸水被害の大きかった追子地区の築堤工事を、8月から始めます。

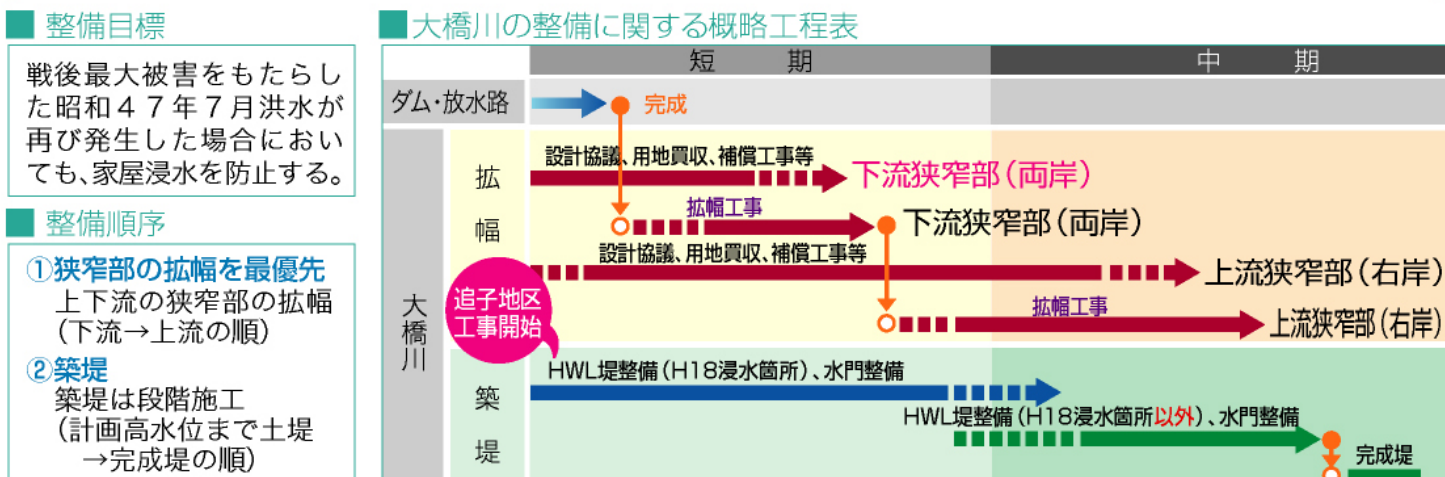
昭和57年から中断していた大橋川改修は、追子地区に堤防を築くことで、工事を再開することになりました。松江市街地の浸水被害解消に向け工事を進めていきたいと考えています。

また、工事にあたっては、治水のみならず、環境や景観に配慮した計画に沿って行うため、「環境モニタリング協議会」「松江市景観審議会」などに諮りながら進めていきます。

また、河川区域内を航行する船舶などの安全対策を万全にするための「大橋川改修工事安全対策調整会議」で意見調整や情報交換を行っていきます。

今後、工事の進捗と共に、各地区での協議を行っていき、その概要についても随時お知らせしていきます。

## 大橋川改修 …… 斐伊川水系河川整備計画で示した今後20年間の整備手順



### 整備目標

戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋浸水を防止する。

### 整備順序

- ① 狭窄部の拡幅を最優先  
上下流の狭窄部の拡幅(下流→上流の順)
- ② 築堤  
築堤は段階施工(計画高水位まで土堤→完成堤の順)

※右岸=南岸

# 大橋川改修【追子地区堤防工事の概要】

概ね3年かけて工事を行います。



完成予想イメージ

※これはイメージで、パラペット構造を含め護岸の色彩・素材等については、景観の観点も踏まえて今後検討する予定です。

平成18年7月豪雨で浸水被害の大きかった追子地区の堤防工事に着手します。

くにびきメッセ・追子団地に面した剣先川の様子



平常時



洪水時

▲大橋川・剣先川の洪水で中の島が水没している



川から流れ込む

くにびきメッセや追子地区に面している剣先川には堤防がなく、水位が上昇すると、川から直接住宅に流れ込んできます。

平成18年7月豪雨では、多くの住宅が床下浸水の被害にあいました。

この度、被害が大きかった追子地区の堤防工事に着手します。

3年後の堤防完成に向け地区の連携も強化しています。

平成18年7月の洪水で浸水被害に見舞われた追子地区の住民として、この度の堤防工事は心待ちにしていました。

3年間というスケジュールが示されたことで、地区のお年寄りも工事の完成を見られると喜んでいました。

これまでに、地域内の連携を強化するための緊急連絡体制を徹底したり、いざという時の防災訓練に参加したりと、自分たちにできる対策も行ってきましたが、やはり堤防は必要です。

追子地区の大橋川改修に関する取り組みは、8つの自治会から1名ずつ参加して頂き、追子地区大橋川改修委員会役員と情報を共有し、透明性を持って取り組んできました。これからも、地区の連携を強くするためにも、情報を共有し、連絡体制を強化していきたいと考えています。

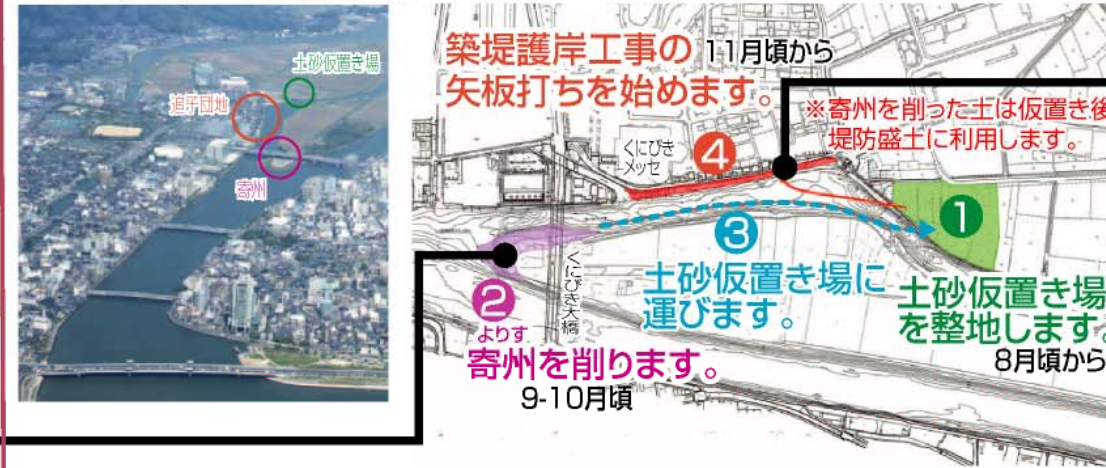


追子地区大橋川改修委員会 勝部 俊雄 委員長

水害写真など資料を提供して頂きました。

## 工事箇所と内容

追子地区で今年度着手する工事の内容です。



11月頃から矢板打ちを始めます。

※寄州を削った土は仮置き後、堤防盛土に利用します。

8月頃から土砂仮置き場に運びます。

9-10月頃寄州を削ります。

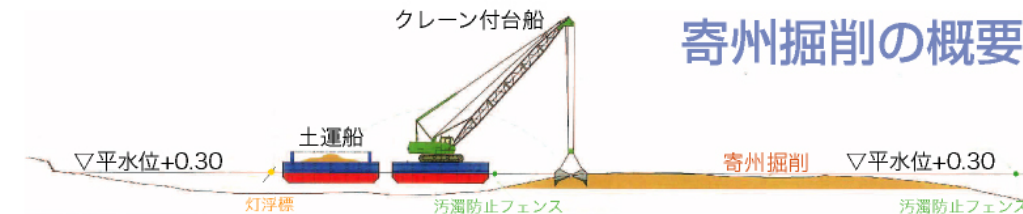


寄州に生育しているオオクグ(左)とコアマモ(右)

### 環境保全措置

寄州に生育しているコアマモ・オオクグは、移植を行います。生態系に配慮しながら工事を進めます。(環境モニタリング)

### 寄州掘削の概要



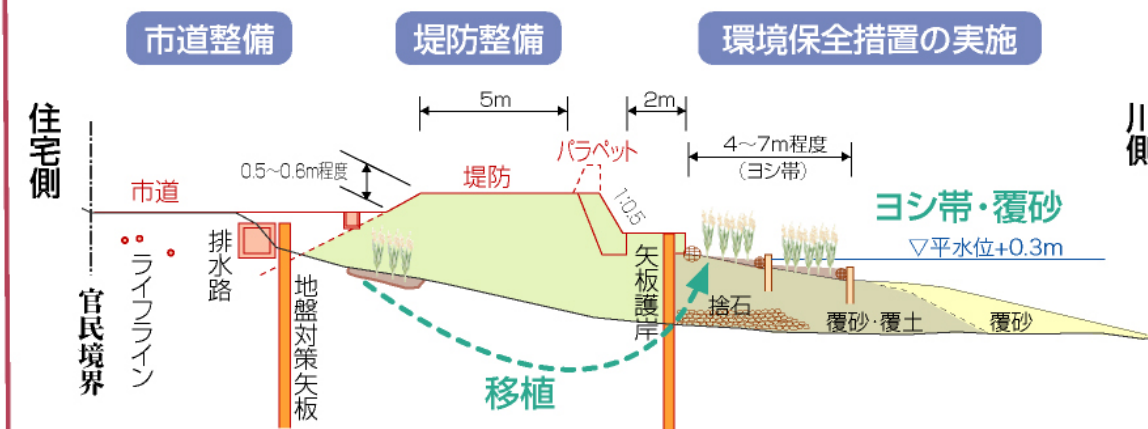
航路を確保するため、寄州(よりす)の土を掘り、運搬船に乗せて残土仮置き場に運びます。くにびき大橋の周辺でクレーン付きの大きな台船が作業を行います。

### 航行の安全確保



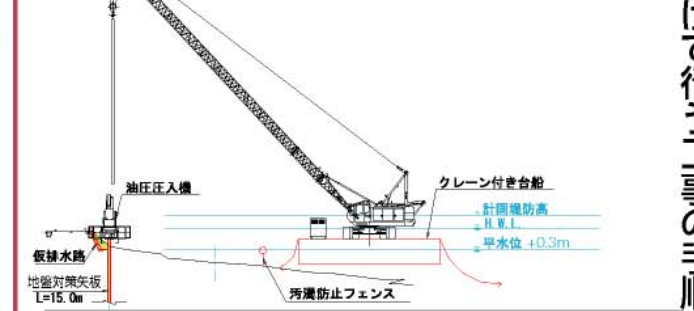
矢板の運搬は、大橋川下流の馬淵港から追子地区まで船で行います。掘削や土砂運搬なども船で行います。このため、漁船、遊覧船、ボートなど日頃から大橋川や剣先川を利用している船と連絡を密にとり、航行時には警戒船を配置するなど安全対策には細心の注意を払いながら進めていきます。

### 築堤護岸の断面



### 築堤護岸工事の手順

手順1 汚濁防止フェンスを設置します  
宅地側の地盤対策矢板を打ちます



手順2 川側護岸の矢板を打ちます  
ヨシを移植します  
仮設の盛土を行います



手順3 矢板より川側を砂で覆いヨシ帯をつくります  
堤防の盛土を行います  
護岸の工事を行います



概ね3年かけて行う工事の手順です。